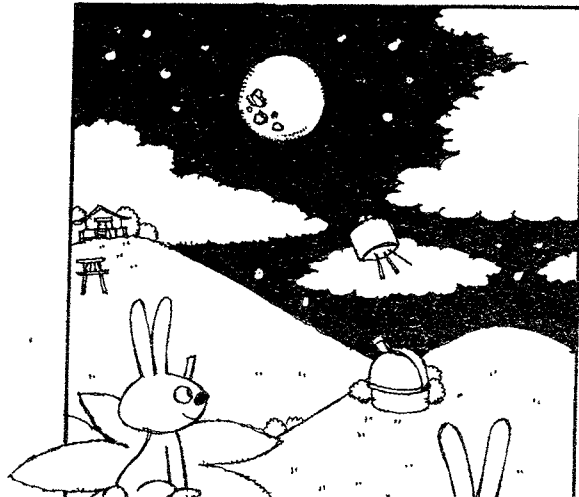


みんな みんな

特定非営利活動法人

せんだい・みやぎNPOセンター 事務局通信

2001年 9月 9日 Vol. 23



「まだまだ、もっともっと、愛とご支援を」

「足りないものがあるから、いろんな人が応援してくれる。だから、NPOは少し足りないくらいがいいのかもしれない。」先日、代表理事の加藤さんが「サポート資源提供システム」のシンポジウムでこんな話していました。

ところで、当センターも、やはり「人・物・お金」が足りません。えっ！この間送ってきた収支決算報告を見ると、7000万も活動資金があるじゃない。お金はもう充分稼げるようになったんじゃないの。だから、もう会費を納めたりしなくても大丈夫だと思ってたけど...

実はこの収支決算には、見えないお金が隠れています。

■NPOフォーラム2001東海会議 参加報告

「新たな協働の世紀へ」 ~つくる・つなぐ・つむぐ~

8月4日(土)~5日(日) 名古屋国際会議場にて

猛暑の名古屋市を舞台に、5回目のNPO全国フォーラムが開催されました。「新たな協働の世紀」というテーマということもあり、堂本千葉県知事や出丸三重県NPO担当マネージャーをはじめとする行政関係者も数多く見られました。日本のNPOの3年5年10年後はいかにあるのか。スタッフの報告の中から読みとって下さい。

.....
■ [NPOの資金源]

NPO支援のための資金循環システムを作ろう

報告者：加藤哲夫

金循環システムとして、大いに注目を集めた。

■ [英国における協働事例の検討]

NPOと自治体の協働~その歴史・現状・課題

報告者：紅邑晶子

日本でも、NPOと行政の協働事業はさまざまな形で始まっています。イギリスでもサッチャー政権の行政改革の折、民間で出来る公共サービスは民間に任せるということで、行政が「公共サービスを提供する側から、購入する側に」変わったそうです。

そのイギリスから3人のゲストを招き、近年進められているNPOと行政の協働の仕組みについて報

えるツール③組織改革とコミュニケーションの活性化の3つがあげられました。評価を行なうプロセスについては、①評価を行う目的を明確にする②その説明を関係者、利害関係者に説明し、共有化する③評価手法を選ぶ④評価を行う⑤評価結果を目的に活用する、ということがあげられました。

NPOと企業の協働評価についての報告では、パートナーシップサポートセンターの岸田さんから、「最初に相互に協働する目的を明確にし、①目的達成度②自己満足度③役割期待度④発展性の4つについて評価を行なった」という報告がありました。

この分科会で印象的だったのは、「評価とは、評価を行なうプロセスそのものに価値がある」という粉川さんの言葉でした。NPOの活動は、社会の仕組みや問題を解決しようという目的で活動していますが、果たして本当に社会的に意義があり、成果をあげているのか確認しにくい活動でもあります。そういう意味で、この言葉の意味をよくかみ締め、評価をこれからの活動に活用したいと思いました。

実に変わっていくと実感している。」宝塚NPOセンターの森さんのコメントが印象的でした。

それぞれの活動支援地域の範囲や創られ方によって、ビジョンや戦略にも違いがあるNPO支援センター。人の顔が見え、手応えのあるつながりの中から地域や社会に対しタイムリーなプログラムを提案・提供できる能力を高め、それを実践し積み重ねその先に未来の支援センターが見えてくるのではないのでしょうか！

■【NPOによるコミュニティビジネス】
まちづくりには、コミュニティビジネス(CB)と止まり木が欠かせない

報告者：遠藤智栄

分科会は名古屋市中村区の新大門商店街でのCBのフィールドワークがあり、CBの息吹を感じる楽しいものになりました。

この街には(特非)起業支援ネットがあり、地域でのCBや区政のNPOの施策に大きな力になっていま

新スタッフを紹介します！

7月から当センターに新しい仲間が増えました。事務局に臨時職員として4名、仙台市市民活動サポートセンター（SSC）に非常勤スタッフとして2名が新加入。ますますパワーアップしてスタッフ一同張り切っています。今回はこの6名のプロフィールをご紹介します。

- ①名前 ②勤務地 ③出身地 ④趣味・特技
- ⑤当センターで働いて気付いたこと
- ⑥最近感動したこと ⑦今後の抱負

■①遠藤孝志②事務局③仙台市④食べ歩き・つり、少林寺拳法（2段）⑤生き物の観察、自分の身の回りに（新聞、住んでいる所など）、NPOに関係するのが結構あることに正直驚きました。⑥妻のお腹の大きさ（現在妊娠7ヶ月）⑦自分の進むべき方向をしっかりとしたものになりたい。

イフ・イズ・ビューティフル」をみて。⑦市民がNPOとどの様な関わりをもって活動しているかを学び、少しでもその役に立ちたいと思います。

■①須藤 達也②事務局③岩手県盛岡市④音楽の聞き流し、新しい人に会って圧倒されること⑤理論と実践の両立の大切さをひしひしと感じています⑥まるで「プロジェクトX」のような、BrainHumanityのスライドショー⑦アタマとカラダの両方をバランスよく使いながら、市民活動に関わっていけるようになりたいと思います。

■①工藤吐夢②SSC③山形市④カフェでまったり、ウラ仙台探索、洋楽ライナーノーツ作成⑤若い人や、これから何かをはじめたいという人に対してのまなざしを感じた。また、既成の価値観にとらわれない

センターサロン報告
 第55回NPOに役立つ『情報公開』活用法
 第56回 まつりとまちのいい関係！

部会報告

PONPO-NET 7月4日開催

第55回のサロンは「NPOに役立つ『情報公開』活用法」というテーマで、7月26日（木）に開催されました。そこでは、NPOの情報公開の現状やその仕組みについて、また、情報公開に対する捉え方と行い方について様々な意見が交わされました。「NPOにとっての情報公開とは、団体の方から市民へ歩み寄る方法の一つである」「NPOが外部からの問合せに対して情報を開示することは、社会的な声を受け止めるもの」「求められたら開示できるようにしておくべきでは？」...さて、皆さんはどう捉え実施していますか？

第56回のサロンは「まつりとまちのいい関係！」というテーマで、8月21日（火）に開催されました。まつりが好きな10人(6団体)の活動内容や実行に至る経緯など、幅広く情報交換を行いました。まちに潜むエネルギーを「まちらしさ」

□前半は、昨年度行われたアイセックと東北NSソリューションズのインターンシップ事業報告でした。両者から事業のプロセス・成果・課題についてのポイントをお話いただきました。今回の事業は両者の思惑が一致して実現したこと。前回の課題を生かし、事前に綿密な打合を行って双方のニーズを確認したこと。研修生が実務としての成果を残せたこと。様々な交流プログラムを行い、研修生・東北NSソリューションズ・アイセック共に有意義なインターンシップとなった、とのことでした。成果として、アイセックはインターンシップのノウハウを確立することができ、東北NSソリューションズは社員の国際感覚の醸成、異文化への理解力・対応力等を身につけるのに役立った。またアイセックのメンバーと東北NSソリューションズの社員との間でも交流が活発に行われ、社員が別に目を向けるべきことはな

東北リレートーク

宮城県 気仙沼市 気仙沼まちづくりセンター

現在、気仙沼まちづくりセンターでは、市民と行政の協働領域の開発を目指し、一步一步作業を進めております。昨年度は、気仙沼市から市民活動・協働調査業務の委託を受け、市の若手職員研修（二日間）中堅職員研修（二日間）及び市民と市職員対象の市民活動推進のための人材養成講座を行い、平行して自主事業として市民対象の「気仙沼まちづくり講座」を開催いたしました。

この講座では市民参加のまちづくりの歴史や市民活動推進の現状や課題について、いままで調査してきたものを公開し、問題点の共有を目指しま

くり」を明確に掲げるという覚悟が必要な気がします。未知の領域に踏み出すことこそが協働の領域を開発し、まちづくりを住む人々に戻すきっかけになると思います。

もう一つの目標は実りのある会議を進めるためにも構成員のレベルアップが必要だと考え、ファシリテーターの養成を行うことです。気仙沼は過去に多くの高いレベルでの市民参加が行われてきましたが、残念ながら、知識・手法が参加者の段階で止まり波及していません。これを切り開くことがこれからの発展に欠かせないと思っております。

これからも自分の行動がまちづくりに生かせる、小さなまちに生まれた幸運を生かそうと思います。

(昆野 龍紀)

活動
報告

事務局活動報告 (6/16~8/23)

■ 事務局／自主事業関連

- ・事業・運営会議 (第16回:6/20 第17回:7/11
第18回:7/26 第19回:8/7 第20回:8/23)
- ・NPO実践講座「ボランティア人材活用術！」(6/20
紅邑・遠藤・菅野)
- ・NPO税制学習会「どうなった!? NPO税制??」
(6/25)
- ・仙台市市民活動サポートセンター 全体ミーティング
(6/20・7/4・11・18・8/1・8・22)
- ・仙台市市民活動サポートセンター 休館日 (6/27・
7/25)
- ・センター会議 (6/27・7/25)
- ・サポート資源開発プロジェクト
ワーキンググループ③ (7/2・31)
ワーキンググループ② (8/1)
第2回研究会(7/5)
試験運用記念セミナー「企業が動くとき社会が変わる！」
(8/2)

- ・多文化共生セナリオ<浜松>/日本財団 (7/27・
28 加藤)
- ・ニューボランティア講座/名古屋 (7/28・29 加藤)
- ・評価システム研究会 (7/30・8/8 加藤・紅邑)
- ・英国調査 (7/7~14 加藤)
- ・日本財団ファシリテーター養成講座④ (8/3 加藤)
- ・支援センター会議/日本NPOセンター、市民フォー
ラム21・NPOセンター (8/3 紅邑)
- ・NPO全国フォーラム2001東海会議<名古屋>/同
実行委員会・日本NPOセンター・市民フォーラム2
1・NPOセンター(8/4・5 加藤・紅邑・遠藤・青
木)

■ 自治体関連

- ・ステップアップセミナー/市・環境計画課 (6/16 加
藤・遠藤 7/7・28 遠藤)
- ・エコチャレンジ③/市・環境局 (6/21 加藤)
- ・まちづくりイベントセミナー/宮城県地域づくり団体

サポート・ご協力 ありがとうございます

●平成13年度会員 (五十音順、敬称略、6/16～8/23)

(新規)泉子ども劇場、上野和弘、大澤健、小野寺諭、片桐和紀、熊谷龍一、齋藤巖、笹尾恭子、谷川俊太郎、中野勇也、
(有)平野印刷、宮城麗人会赤十字奉仕団

(継続・個人・正会員)愛知絢子、赤木弘喜、伊勢武彦、内海裕一、浦沢みよこ、岡崎トミ子、小島誠、片倉玄、鎌田さゆり、川崎あや、菅野良嗣、小島妙子、木幡勝幸、佐藤元吾、佐野章二、白川由利枝、中村祥子、日向則子、広岡立美、三澤宏喜、三好彰、山岡義典、遊佐美由紀

(継続・団体・正会員)青森アップル会、(特非)あかねグループ、AKK仙台、角田市アジアの農民と手をつなぐ会、(特非)グループゆう、子ども虐待防止ネットワーク、CILたすけっと、市民フォーラム21・NPOセンター、女性のための離婚ホットライン、白石・みやぎ環境を考える会、仙台ダルク、仙台地方労働者福祉協議会、仙台生ごみリサイクルネットワーク、ソキウスせんだい、清水水ソフトウエアカンパニー、(社)長寿社会文化協会、東北HIVコミュニケーションズ、NACL宮城「けやきの会」、日本労働組合総連合会宮城県連合会、(特非)パートナーシップサポートセンター、ふくしまマップ宮城、古川NPO支援センター運営委員会、MIYAGI子どもネットワーク、(特非)麦の会、(特非)ゆうあんどあい

(継続・企業・正会員)針生印刷(株)、(株)東日本放送、(株)ユーメディア

(継続・準会員)赤須治郎、有谷昭男、市川力、伊藤寿郎、今田忠、上矢智幸、遠藤邦明、遠藤啓介、遠藤幸枝、大泉太由子、沖永哲哉、長田洋子、片平たても、應援團、木須八重子、木村茂、協同組合プランニングネットワーク東北、楠本雅弘、クリーンアップ蒲生、心の図書室、齋藤衣代、(特非)住民福祉団体ささえ愛山元、佐々木亨、(株)佐元工務店、(特非)塩竈市体育協会、(有)シャローム、鈴木道子、鈴木亮一、世古一穂、仙台インターネット推進研究会、(社)仙台青年会議所、高橋秀行、谷川毅、東洋ゴム(株)、二階堂儔、橋本毅、早坂恵美、早坂毅、ふくしま地域づくりの会、藤田佐和子、舟山均、古館光治、三宅まゆみ、宮野学、渡辺祥子、WACまごころサービスみやぎ

●ボランティアスタッフ (五十音順、敬称略)

(事務局)遠藤礼子、緒方布美子、花多山洋子、菅野大輔、佐藤恵子、細野泰志、本郷正武、林田由美子

(翻訳)二瓶敏子

●企業協力 (五十音順、敬称略) 岡田グループ(事務局)、みやぎ社会言語学センター、東北NPOセンター、グループ(BOMBON)